



<https://news.yahoo.co.jp/articles/4f30bacbca2eb7a6a0538f938e9c78f5bc1722d9>

新潟市の小学校と新潟大学の卒業式が執り行われました。マスク生活の中でも思い出をはぐくみ、最後にマスクを外した卒業生の笑顔が見られました。

新潟市中央区の上所小学校の卒業式。 マスクを外して100人の卒業生が入場しました。学校は卒業生のマスクの着用は個人の判断としたところ、ほとんどが外していました。

6年間の半分がマスク生活でしたが思い起こすのは楽しい思い出です。

■卒業生

「夏祭りが新型コロナで延期になって秋祭りになったがナイトウォークが夏よりも暗くて楽しかった」

「修学旅行。一日中友達といたしいっぱい話せたから」

中学校生活への期待も膨らみます。

■卒業生

「友達をたくさん作りたい。100人！」

「筋トレを頑張りたい」

「部活も勉強も難しくなるのでそこを頑張りたい」



一方、朱鷺メッセで行われた新潟大学の卒業式。会場を従来より広く確保し保護者の参加が4年ぶりに可能となりました。卒業生は全学部合わせて3006人。マスクの着用は任意でしたが外している卒業生はまばらでした。



■卒業生

「ここまで育ててくれた両親に感謝してこれからも頑張っていこうという思い」
「新潟大学最高！」と声を合わせ、学び舎を後にしました

